

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2021-62279 (P2021-62279A)
 【公開日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-019
 【出願番号】特願 2021-9365 (P2021-9365)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 4 日 (2021.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に関する所定の演出を実行する演出制御手段を備えた遊技機において、
 前記演出制御手段は、
 表示手段の所定位置で行われる主演出と、
 前記主演出よりも前記表示手段の外縁方向の少なくとも一部の所定領域を使用して前記
 主演出を強調する強調演出と、を実行可能であり、
 前記主演出は、
 演出の主体を第 1 形態又は前記第 1 形態と異なる第 2 形態で実行可能な第 1 の主演出と
 、
 前記第 1 の主演出の終了後であって、前記第 1 の主演出とは異なる表示態様である第 3
 形態又は前記第 3 形態と異なる第 4 形態で実行可能な第 2 の主演出と、を含み、
 前記強調演出は、
 前記第 1 の主演出に基づいて行われる第 1 の強調演出と、
 前記第 2 の主演出に基づいて行われる第 2 の強調演出と、を含み、
 前記第 1 の強調演出は、
前記第 1 の主演出が前記第 1 形態で実行される場合には、複数種類の強調演出のうち第
1 演出を実行可能であり、
前記第 1 の主演出が前記第 2 形態で実行される場合には、複数種類の強調演出のうち第
2 演出を実行可能であり、
 前記第 2 の強調演出は、
前記第 2 の主演出が前記第 3 形態で実行される場合には、第 3 演出を実行し、
前記第 2 の主演出が前記第 4 形態で実行される場合には、第 4 演出を実行し、
前記第 1 演出が実行される場合より、前記第 2 演出が実行される場合の方が、前記第 4
形態で実行される前記第 4 演出が実行され易く、
図柄の変動表示が特別表示結果になる場合、第 1 の組み合わせ態様で表示される場合よ
り、前記第 1 の組み合わせ態様とは異なる第 2 の組み合わせ態様で表示される場合の方が
、前記第 4 形態で実行される前記第 4 演出が実行され易い、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は以下の構成を有するものである。尚、参照符号は、本発明の理解促進の為に図面に図示した構成要素との対応関係の一例を示したものであり、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

本発明の遊技機(1)は、遊技に関する所定の演出を実行する演出制御手段(演出制御基板130)を備え、前記演出制御手段は、表示手段(第1画像表示装置70)の所定位置(例えば、中央領域を含む表示領域)で行われる主演出(例えば、図52に示す図柄表示、キャラクタ表示、文字表示等による演出)と、前記主演出よりも前記表示手段の外縁方向の少なくとも一部の所定領域を使用して前記主演出を強調する強調演出(例えば、図52に示すエフェクト画像、フラッシュ画像等による演出)と、を実行可能であり、前記主演出は、演出の主体を第1形態(例えば、図53に示す擬似連演出)又は前記第1形態と異なる第2形態(例えば、図56に示すリーチ中のバトル演出)で実行可能な第1の主演出と、前記第1の主演出の終了後であって、前記第1の主演出とは異なる表示態様である第3形態(例えば、図64に示す大当たり演出での「SUPERBONUS」の文字画像)又は前記第3形態と異なる第4形態(例えば、図64に示す大当たり演出での「BONUS」の文字画像)で実行可能な第2の主演出と、を含み、前記強調演出は、前記第1の主演出に基づいて行われる第1の強調演出(例えば、図53に示すエフェクト画像、図56に示すエフェクト画像)と、前記第2の主演出に基づいて行われる第2の強調演出(例えば、図64に示すフラッシュ画像)と、を含み、前記第1の強調演出は、前記第1の主演出が前記第1形態(擬似連演出)で実行される場合には、複数種類の強調演出(黄、緑、赤エフェクト画像)のうち第1演出(黄エフェクト画像)を実行可能であり、前記第1の主演出が前記第2形態(バトル演出)で実行される場合には、複数種類の強調演出(青、緑、赤、虹エフェクト画像)のうち第2演出(赤または虹エフェクト画像)を実行可能であり、前記第2の強調演出は、前記第2の主演出が前記第3形態(SUPERBONUSの文字画像)で実行される場合には、第3演出(後光フラッシュA画像)を実行し、前記第2の主演出が前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される場合には、第4演出(後光フラッシュC画像)を実行し、前記第1演出(擬似連演出での黄エフェクト画像)が実行される場合より、前記第2演出(バトル演出での赤エフェクト画像)が実行される場合の方が、前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される前記第3演出(後光フラッシュC画像)が実行され易く、図柄の変動表示が特別表示結果になる場合、第1の組み合わせ態様(例えば、奇数図柄揃い)で表示される場合より、前記第1の組み合わせ態様とは異なる第2の組み合わせ態様(例えば、偶数図柄揃い)で表示される場合の方が、前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される前記第4演出(後光フラッシュC画像)が実行され易いことを特徴とする。